

歯科から救える命がある

口腔がん 早期発見 のすすめ



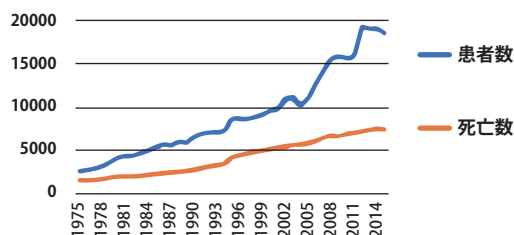
講師： たなか 田中 よういち 陽一 先生

1973年 東京歯科大学 卒業
1977年 ミラノ大学留学
1982年 歯学博士（東京歯科大学）
1994年 慶応義塾大学医学部専任講師（中央臨床検査部病理）
2006年 東京歯科大学市川総合病院 臨床検査科病理 教授
現在 同 客員教授
日本歯科評論 2018年から巻頭特集 連載中

【細胞診編】

- ◇細胞診の基礎知識
- ◇LBC（液状化検体細胞診）とは？
- ◇失敗しない依頼書の記入例、報告書の読み方

日本での口腔・咽頭がんの患者数・死亡数の推移



出典：国立がん研究センター

口腔がんは早期発見すれば死に至ることは稀な病気ですが、日本国内では罹患数・死亡数ともに年々増加しています。他部位のがんと異なり口腔がんは肉眼で外部から病変を確認することができるため、一般的な定期健診の際に病変の早期発見ができれば、死亡率の改善に繋がります。本セミナーでは口腔がんの病変の視診、触診方法、さらにはより確実な検診結果を得るための液状化検体細胞診(LBC)の導入の提案、治療機関とのネットワークの構築までを、千葉県市川市で10年以上前から口腔がんの早期発見ネットワークづくりに取り組んできた田中陽一先生をお招きし、ご講演いただきます。

■セミナー受講要項■

日 時： 2021年2月17日（水）
参加方法： Web 配信システム「ZOOM」での参加となります。
詳細はEメールにてご連絡いたします。
応 募： 右記 QR コードを読み取り、リンク先フォームにて
必要事項を入力し送信してください。
当日連絡先：080-4373-5664（営業部：杉浦）
時 間： 19:00～20:15
受 講 料： 3,000 円
定 員： 20 名 定員になり次第締め切り。

▼ お申し込みはこちら ▼

下のQRコードを読み取ると申込フォームが立ち上がります。記載されている必要事項をご明記の上、送信してください。



お申し込みから3営業日以内に
完了メールをお送りいたします。